

学生支援について

令和7年4月1日現在

【学習支援について】

履修指導については、本学ではセメスター制をとっていないため、年度初めに1年間を通じた履修と登録の指導を行っている。履修登録はあくまでも学生本人の責任ではあるが、選択科目のガイダンスや履修登録のエラー修正などの細かな指導を行っている。

学習上の問題、悩み等に対する指導助言のための取組みとして、全学年でクラス担任制を教員同士が連携を図りながら、学生の日ごろの様子や変化についてきめ細かく情報収集し、必要に応じた対応をする体制をとっている。個人面談を重視し、日ごろの生活上の悩みや、進路、学費等の経済的な問題等、幅広いフォローが可能である。

また専任教員は、学生が相談のため自由に研究室を訪問できる「オフィスアワー」(週1回通常5時間)を設定しており、学生が気軽に教員を訪問できる環境を整えている。

【学生生活支援について】

学生たちが充実した学生生活を送ることができるように、学内全体で連携をはかりながらサポートをおこなっている。学生生活を支援する組織としては、学生委員会、衛生委員会、学生相談室、健康管理センターがある。学生委員は、主に学生指導、学友会活動への指導や助言、学生の健康管理やメンタルサポート等をおこなっている。また、各学年において、ゼミ担当制を取ることによって、ゼミ担当教員が、ゼミ生ときめ細やかに関わる学生支援を目指している。

【進路支援について】

1. 支援体制

組織として「キャリア支援部」がある。キャリア支援部では、教員・保育士の採用試験対策を担当する「教職支援室」と、全般的な就職に関する支援・指導を行う「キャリア支援室」を中心に、就職に関する相談・助言体制を整備している。加えて、ゼミ担当教員と連携し、支援体制の充実を図っている。

2. 支援の取り組み

*保育・教育現場に1年生から継続的に取り組むインターンシップ実習の運営に携わり、授業科目と連動させ学びを深めるための支援を行っている。

*就職試験対策として、4年間を通じた「キャリア支援講座」を授業時間帯に開講し、学年ごとの系統的なプログラムを構築、学生が継続して意欲的に取り組める体制を整えている。また、教員採用試験・公務員試験受験者のために、重点的に短期集中講座や外部講座も併行して開講し、対策強化に努めている。

*日常的に個人面談を行い、進路希望の背景や就職希望先を把握するとともに、個別の状況に合わせた相談・助言を行っている。また、学生の円滑な支援のために、学内システムを活用した進路希望調査の実施や、就職フェア、保育・教育現場のボランティア・アルバイト募集等有益な情報提供を行っている。

*設備としての「キャリア支援センター」内では、就職関連情報・書籍(採用試験問題集含む)や過去の受験報告書等を備え、「求人票(パンフレット含む)」を掲示し学生が自由に閲覧できる環境を整えている。

*就職ガイダンスでは、就職に対する意識の動機付けや意欲向上を図るとともに、受験にあたっての手続き・流れ・マナー等についてより具体的な指導を行っている。

*受験のための履歴書・エントリーシートの記入方法・添削、筆記試験、作文・小論文対策や、面接、実技指導を行っている。また、応募書類に必要な各種証明書を発行している。